

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公開番号】特開2008-100114(P2008-100114A)

【公開日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2008-017

【出願番号】特願2008-7991(P2008-7991)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年5月24日(2010.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤の遊技領域に遊技球を発射して遊技が行なわれる弾球遊技機であって、
遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段と、
複数種類の識別情報を可変表示して表示結果を導出表示する可変表示装置と、
前記表示結果の導出表示に関わる演出を制御する演出制御手段と、
遊技者からの指示を検出する指示検出手段とを備え、
前記可変表示装置の表示結果が特定表示結果となったときに特定遊技状態に制御され、
前記遊技制御手段は、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導
出表示するまでの可変表示時間を特定するためのコマンドを出力し、
前記指示検出手段の検出信号は、前記遊技制御手段を経由することなく前記演出制御手
段に入力され、
前記演出制御手段は、
前記遊技制御手段からの前記コマンドに基づき、前記可変表示装置において可変表示
を開始してから表示結果を導出表示するまでの間における所定の受付期間中において前記
演出の態様を選択するための遊技者からの演出選択指示を受付けてその後に導出表示され
る表示結果に該演出選択指示が関与しているかのような擬似選択演出を行なう特定可変表
示パターンを含む複数種類の可変表示パターンのうちいずれかを設定する可変表示パター
ン設定手段と、
該可変表示パターン設定手段により設定された可変表示パターンで、前記可変表示装
置において可変表示を開始して前記コマンドにより特定される可変表示時間にしたがって
可変表示を行ない表示結果を導出させて確定表示させる制御を行なう可変表示制御手段と
、
前記受付期間であるときに、前記指示検出手段からの検出信号を判定して前記演出選
択指示を受付ける指示受付手段と、
前記擬似選択演出が行なわれているときに、前記演出選択指示の受付が可能である
旨を遊技者に報知するガイド報知を実行するガイド報知実行手段とを含み、
前記受付期間は、前記演出選択指示が受け付けられた時期によって変動することのない一
定期間に定められており、
前記演出選択指示に応じた演出は、前記演出選択指示が受け付けられた時期にかかわらず

前記受付期間の経過後において実行され、

前記可変表示制御手段は、前記特定可変表示パターンが設定されているときに前記擬似選択演出を行なう擬似選択演出実行手段を含み、

該擬似選択演出実行手段は、選択可能な演出の態様として前記受付期間中に提示される選択肢の数が異なる複数種類の擬似選択演出を実行可能であり、前記受付期間中に提示される選択肢の数に応じて、前記特定表示結果が表示される信頼度が異なるようにしたことを特徴とする、弾球遊技機。

【請求項 2】

遊技盤の遊技領域に遊技球を発射して遊技が行なわれる弾球遊技機であって、

遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段と、

複数種類の識別情報を可変表示して表示結果を導出表示する可変表示装置と、

前記表示結果の導出表示に関わる演出を制御する演出制御手段と、

遊技者からの指示を検出する指示検出手段とを備え、

前記可変表示装置の表示結果が特定表示結果となったときに特定遊技状態に制御され、

前記遊技制御手段は、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの可変表示時間を特定するためのコマンドを出力し、

前記指示検出手段の検出信号は、前記遊技制御手段を経由することなく前記演出制御手段に入力され、

前記演出制御手段は、

前記遊技制御手段からの前記コマンドに基づき、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの間における所定の受付期間中において前記演出の態様を選択するための遊技者からの演出選択指示を受付けてその後に導出表示される表示結果に該演出選択指示が関与しているかのような擬似選択演出を行なう特定可変表示パターンを含む複数種類の可変表示パターンのうちいずれかを設定する可変表示パターン設定手段と、

該可変表示パターン設定手段により設定された可変表示パターンで、前記可変表示装置において可変表示を開始して前記コマンドにより特定される可変表示時間にしたがって可変表示を行ない表示結果を導出させて確定表示させる制御を行なう可変表示制御手段と

、
前記受付期間であるときに、前記指示検出手段からの検出信号を判定して前記演出選択指示を受付ける指示受付手段と、

前記擬似選択演出が行なわれているときに、前記演出選択指示の受け付けが可能である旨を遊技者に報知するガイド報知を実行するガイド報知実行手段とを含み、

前記受付期間は、前記演出選択指示が受け付けられた時期によって変動することのない一定期間に定められており、

前記演出選択指示に応じた演出は、前記演出選択指示が受け付けられた時期にかかわらず前記受付期間の経過後において実行され、

前記遊技領域に設けられた始動入賞口に遊技球が入賞する毎に記憶される、該入賞に基づき前記可変表示装置において実行される可変表示の表示結果を特定するための情報の中に、前記特定表示結果となることを特定するための情報が存在する場合には、前記受付期間中に前記演出選択指示があった場合であっても、演出の態様として特定態様を実行することを特徴とする、弾球遊技機。

【請求項 3】

遊技盤の遊技領域に遊技球を発射して遊技が行なわれる弾球遊技機であって、

遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段と、

複数種類の識別情報を可変表示して表示結果を導出表示する可変表示装置と、

前記表示結果の導出表示に関わる演出を制御する演出制御手段と、

遊技者からの指示を検出する指示検出手段とを備え、

前記可変表示装置の表示結果が特定表示結果となったときに特定遊技状態に制御され、

前記遊技制御手段は、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導

出表示するまでの可変表示時間を特定するためのコマンドを出力し、

前記指示検出手段の検出信号は、前記遊技制御手段を経由することなく前記演出制御手段に入力され、

前記演出制御手段は、

前記遊技制御手段からの前記コマンドに基づき、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの間における所定の受付期間中において前記演出の態様を選択するための遊技者からの演出選択指示を受付けてその後に導出表示される表示結果に該演出選択指示が関与しているかのような擬似選択演出を行なう特定可変表示パターンを含む複数種類の可変表示パターンのうちいずれかを設定する可変表示パターン設定手段と、

該可変表示パターン設定手段により設定された可変表示パターンで、前記可変表示装置において可変表示を開始して前記コマンドにより特定される可変表示時間にしたがって可変表示を行ない表示結果を導出させて確定表示させる制御を行なう可変表示制御手段と

、
前記受付期間であるときに、前記指示検出手段からの検出信号を判定して前記演出選択指示を受付ける指示受付手段と、

前記擬似選択演出が行なわれているときに、前記演出選択指示の受け付けが可能である旨を遊技者に報知するガイド報知を実行するガイド報知実行手段とを含み、

前記受付期間は、前記演出選択指示が受け付けられた時期によって変動することのない一定期間に定められており、

前記演出選択指示に応じた演出は、前記演出選択指示が受け付けられた時期にかかわらず前記受付期間の経過後において実行され、

前記弾球遊技機は、前記可変表示装置の表示結果が前記特定表示結果のうち特別表示結果となったときに前記特定遊技状態が発生しやすい特別遊技状態に制御され、

前記演出制御手段は、前記受付期間中に選択可能な演出の態様を提示する提示手段をさらに含み、

該提示手段は、前記特定遊技状態が前記特別遊技状態において所定回数連続して発生することにより特典付与条件が成立したときに、前記受付期間中に提示する選択肢の中に、前記特典付与条件が未成立のときには選択不可能である特別な演出の態様を含めて提示することを特徴とする、弾球遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

（１）遊技盤（遊技盤６）の遊技領域（遊技領域７）に遊技球（パチンコ玉）を発射して遊技が行なわれる弾球遊技機（パチンコ遊技機１）であって、

遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段（遊技制御用マイクロコンピュータ５３）と

、
複数種類の識別情報を可変表示して表示結果を導出表示する可変表示装置（可変表示装置８）と、

前記表示結果の導出表示に関わる演出を制御する演出制御手段（表示制御用マイクロコンピュータ８００、ランプ制御用マイクロコンピュータ、音制御用マイクロコンピュータ）と、

遊技者からの指示を検出する指示検出手段（たとえば、光センサ６１，６２，６３等）とを備え、

前記可変表示装置の表示結果が特定表示結果となったときに特定遊技状態に制御され、

前記遊技制御手段は、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの可変表示時間を特定するためのコマンド（表示制御コマンド、変動パタ

ーンコマンド)を出力し、

前記指示検出手段の検出信号は、前記遊技制御手段を経由することなく前記演出制御手段に入力され(図4参照)、

前記演出制御手段は、

前記遊技制御手段からの前記コマンドに基づき、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの間における所定の受付期間中において前記演出の態様(たとえば、図柄、キャラクタ、背景、演出のストーリー等)を選択するための遊技者からの演出選択指示を受付けてその後に導出表示される表示結果に該演出選択指示が関与しているかのような擬似選択演出(選択遊技)を行なう特定可変表示パターンを含む複数種類の可変表示パターンのうちいずれかを設定する可変表示パターン設定手段(図21のSG02、SG03)と、

該可変表示パターン設定手段により設定された可変表示パターンで、前記可変表示装置において可変表示を開始して前記コマンドにより特定される可変表示時間にしたがって可変表示を行ない表示結果を導出させて確定表示させる制御を行なう可変表示制御手段(図19のSE03~SE05)と、

前記受付期間であるときに、前記指示検出手段からの検出信号を判定して前記演出選択指示を受付ける指示受付手段(図30のSQ02、SQ05参照)と、

前記擬似選択演出が行なわれているときに、前記演出選択指示の受付が可能である旨を遊技者に報知するガイド報知を実行するガイド報知実行手段(図36のSU01、SU02)とを含み、

前記受付期間は、前記演出選択指示が受け付けられた時期によって変動することのない一定期間に定められており、

前記演出選択指示に応じた演出は、前記演出選択指示が受け付けられた時期にかかわらず前記受付期間の経過後において実行され、

前記可変表示制御手段は、前記特定可変表示パターンが設定されているときに前記擬似選択演出を行なう擬似選択演出実行手段を含み、

該擬似選択演出実行手段は、選択可能な演出の態様として前記受付期間中に提示される選択肢の数が異なる複数種類の擬似選択演出を実行可能であり、前記受付期間中に提示される選択肢の数に応じて、前記特定表示結果が表示される信頼度が異なるようにした。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述の構成によれば、擬似選択演出が行なわれているときに、演出選択指示の受付が可能である旨を遊技者に案内する報知が行なわれる。これにより、擬似選択演出における演出態様の変更に際して、報知情報にもとづき遊技を進行できるため、演出選択するための機会を遊技者にとってわかりやすくすることができる。また、遊技者は落ち着いて演出選択を行なうことができる。また、遊技制御手段に指示検出手段の検出信号が入力されないため不正防止を図れる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(2) 遊技盤(遊技盤6)の遊技領域(遊技領域7)に遊技球(パチンコ玉)を発射して遊技が行なわれる弾球遊技機(パチンコ遊技機1)であって、

遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段(遊技制御用マイクロコンピュータ53)と

、
複数種類の識別情報を可変表示して表示結果を導出表示する可変表示装置（可変表示装置 8）と、

前記表示結果の導出表示に関わる演出を制御する演出制御手段（表示制御用マイクロコンピュータ 800、ランプ制御用マイクロコンピュータ、音制御用マイクロコンピュータ）と、

遊技者からの指示を検出する指示検出手段（たとえば、光センサ 61, 62, 63 等）とを備え、

前記可変表示装置の表示結果が特定表示結果となったときに特定遊技状態に制御され、
前記遊技制御手段は、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの可変表示時間を特定するためのコマンド（表示制御コマンド、変動パターンコマンド）を出力し、

前記指示検出手段の検出信号は、前記遊技制御手段を経由することなく前記演出制御手段に入力され（図 4 参照）、

前記演出制御手段は、

前記遊技制御手段からの前記コマンドに基づき、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの間における所定の受付期間中において前記演出の態様（たとえば、図柄、キャラクタ、背景、演出のストーリー等）を選択するための遊技者からの演出選択指示を受付けてその後に導出表示される表示結果に該演出選択指示が関与しているかのような擬似選択演出（選択遊技）を行なう特定可変表示パターンを含む複数種類の可変表示パターンのうちいずれかを設定する可変表示パターン設定手段（図 21 の SG02、SG03）と、

該可変表示パターン設定手段により設定された可変表示パターンで、前記可変表示装置において可変表示を開始して前記コマンドにより特定される可変表示時間にしたがって可変表示を行ない表示結果を導出させて確定表示させる制御を行なう可変表示制御手段（図 19 の SE03～SE05）と、

前記受付期間であるときに、前記指示検出手段からの検出信号を判定して前記演出選択指示を受付ける指示受付手段（図 30 の SQ02、SQ05 参照）と、

前記擬似選択演出が行なわれているときに、前記演出選択指示の受付が可能である旨を遊技者に報知するガイド報知を実行するガイド報知実行手段（図 36 の SU01、SU02）とを含み、

前記受付期間は、前記演出選択指示が受け付けられた時期によって変動することのない一定期間に定められており、

前記演出選択指示に応じた演出は、前記演出選択指示が受け付けられた時期にかかわらず前記受付期間の経過後において実行され、

前記遊技領域に設けられた始動入賞口に遊技球が入賞する毎に記憶される、該入賞に基づき前記可変表示装置において実行される可変表示の表示結果を特定するための情報の中に、前記特定表示結果となることを特定するための情報が存在する場合には、前記受付期間中に前記演出選択指示があった場合であっても、演出の態様として特定態様を実行する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上述の構成によれば、擬似選択演出が行なわれているときに、演出選択指示の受付が可能である旨を遊技者に案内する報知が行なわれる。これにより、擬似選択演出における演出態様の変更に際して、報知情報にもとづき遊技を進行できるため、演出選択するための機会を遊技者にとってわかりやすくすることができる。また、遊技者は落ち着いて演出

選択を行なうことができる。また、遊技制御手段に指示検出手段の検出信号が入力されないため不正防止を図れる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(3) 遊技盤 (遊技盤 6) の遊技領域 (遊技領域 7) に遊技球 (パチンコ玉) を発射して遊技が行なわれる弾球遊技機 (パチンコ遊技機 1) であって、

遊技機の遊技状態を制御する遊技制御手段 (遊技制御用マイクロコンピュータ 5 3) と

、
複数種類の識別情報を可変表示して表示結果を導出表示する可変表示装置 (可変表示装置 8) と、

前記表示結果の導出表示に関わる演出を制御する演出制御手段 (表示制御用マイクロコンピュータ 8 0 0 、ランプ制御用マイクロコンピュータ、音制御用マイクロコンピュータ) と、

遊技者からの指示を検出する指示検出手段 (たとえば、光センサ 6 1 , 6 2 , 6 3 等) とを備え、

前記可変表示装置の表示結果が特定表示結果となったときに特定遊技状態に制御され、
前記遊技制御手段は、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの可変表示時間を特定するためのコマンド (表示制御コマンド、変動パターンコマンド) を出力し、

前記指示検出手段の検出信号は、前記遊技制御手段を経由することなく前記演出制御手段に入力され (図 4 参照) 、

前記演出制御手段は、

前記遊技制御手段からの前記コマンドに基づき、前記可変表示装置において可変表示を開始してから表示結果を導出表示するまでの間における所定の受付期間中において前記演出の態様 (たとえば、図柄、キャラクタ、背景、演出のストーリー等) を選択するための遊技者からの演出選択指示を受付けてその後に導出表示される表示結果に該演出選択指示が関与しているかのような擬似選択演出 (選択遊技) を行なう特定可変表示パターンを含む複数種類の可変表示パターンのうちいずれかを設定する可変表示パターン設定手段 (図 2 1 の S G 0 2 、 S G 0 3) と、

該可変表示パターン設定手段により設定された可変表示パターンで、前記可変表示装置において可変表示を開始して前記コマンドにより特定される可変表示時間にしたがって可変表示を行ない表示結果を導出させて確定表示させる制御を行なう可変表示制御手段 (図 1 9 の S E 0 3 ~ S E 0 5) と、

前記受付期間であるときに、前記指示検出手段からの検出信号を判定して前記演出選択指示を受付ける指示受付手段 (図 3 0 の S Q 0 2 , S Q 0 5 参照) と、

前記擬似選択演出が行なわれているときに、前記演出選択指示の受け付けが可能である旨を遊技者に報知するガイド報知を実行するガイド報知実行手段 (図 3 6 の S U 0 1 、 S U 0 2) とを含み、

前記受付期間は、前記演出選択指示が受け付けられた時期によって変動することのない一定期間に定められており、

前記演出選択指示に応じた演出は、前記演出選択指示が受け付けられた時期にかかわらず前記受付期間の経過後において実行され、

前記弾球遊技機は、前記可変表示装置の表示結果が前記特定表示結果のうち特別表示結果となったときに前記特定遊技状態が発生しやすい特別遊技状態に制御され、

前記演出制御手段は、前記受付期間中に選択可能な演出の態様を提示する提示手段をさらに含み、

該提示手段は、前記特定遊技状態が前記特別遊技状態において所定回数連続して発生することにより特典付与条件が成立したときに、前記受付期間中に提示する選択肢の中に、前記特典付与条件が未成立のときには選択不可能である特別な演出の態様を含めて提示する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上述の構成によれば、擬似選択演出が行なわれているときに、演出選択指示の受け付けが可能である旨を遊技者に案内する報知が行なわれる。これにより、擬似選択演出における演出態様の変更に際して、報知情報にもとづき遊技を進行できるため、演出選択するための機会を遊技者にとってわかりやすくすることができる。また、遊技者は落ち着いて演出選択を行なうことができる。また、遊技制御手段に指示検出手段の検出信号が入力されないため不正防止を図れる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】